村上式

目下

東京市神田區橋本町 一直 井長 次郎 商店 振赫東京四九五三人 特賣中

大 特 们 表

表

的店

減 n e 性仰採用

高

H취를 1318

出版である。 **₹**25 1750 # 100 0.00 0.00

F-1-08

1331 曲言言

本年度團長會議 三月十八日

選れた敗残兵相常在り、二十一年泉、冷口間の地區には逃け不泉、冷口間の地區には逃け不泉、冷口間の地區には逃け不泉、冷口間の地區には逃げ

歸順兵匪の

财七十七百火千

對日戰意愈々濃厚

を買ふやさ云ふさ自ら鄭家屯 中国商は如何にして實質せら 大型より中馬市場に持出しい 其處で仲質人及中間は何れる領 別回数能である。沿線日本人 中国商は如何にしてこの共中 の方と呼ばれる。

長會勝は左の如く決定した節奏表によれば昭和八年度画除

より開催

長會議會合者は各師順長。

間に激戦かり、之を撃退せし 常口に向つた我大行李除さの

喜々として工作

工兵隊

の經路

のを買入れる組合もあるが。の場合もあつて損失を招く事がある。而して日本人の質付は成は年重地渡し或は暖樹液し歩きなつてある。

するものである

5億元山かる敦賀下間其他に

あに、絵出内さしての理想は 中より内までの評略を述ぶ

講洲に於ける居場は各地城

近る様にすれば更に理想的で

寺區々であるが牛肉の内地輪

新京。公主論。四本街等の

需要に至る迄

満蒙牛の輸出事情

四銭で管質用者が折半し負擔に依り残るが手数料一頭大洋であつて此場合大洋二届三十であつて此場合大洋二届三十

(軍部官衙納入は班)

家子の附近に於て迫撃砲及機

に七個師の多名に達し、その 意 特に握られてるる中央軍は既 た 京附近に集結され何應欽の手 東 の の の の の の の の の

意々蔣さしては目已り1条を 東北軍及雑軍を潰滅でんさしたが意志不徹底の賃成功せや である、又從來

手せしむ可く、目下その準備では意々解氷別も迫つたので、警備司令部及滅遺跡に於

關内に敗走す

二十家子附近で衝突

◆我方は一名の資傷兵を出し

休算上より 見たる 四

七月頃決行か

齋藤、高橋兩相會見

戦債問題に關する

米政府の宣言

就中英詞さの間に先づ交渉がを開始する用款を有す。

さいふに在る

共少多非是

匹國協

佛國

は同意す

首相。ポンクール外相ご英俳

最後決定の本會議

は廿七日

期齢、豪彦軍司令官の別日は 一二月二十八月より四月一日まで、参謀長會議の出席者は師で、参謀長會議の出席者は師

部教育協監部である 球。東京警備参謀長等で明日 は四月二十日より二十五日ま

(華府化一日養國語)米蔵政府は二十一日夜本ワイト・ハウスよりル大統領既任以來最初の戦債問題に騙する宜言を發表した、右宜言は大統領が來る六月十五日附诵明に達する各級の對米戦債の年賦金のる各級の對米戦債の年賦金の

に要求する意思なき事を明かにしたもので、その要旨は監大統領は乗る六月十五日を以て論明さなる一億四千四百萬弗以上に達する戦債年度支持金の支排に應す可きまを明待し、支持延期の権限を請すという。

り乗り大使消でドラデイユ佛 朝十時パリ着十一時三十分よ ク英首相。サイモン外相は今

伊狐四崎協定案につき會談を

THE REAL PROPERTY AND PERSONS ASSESSED.

ものである

Ξ

齋藤内閣の挂冠は

内相ど會見

閣内長老の意見を聽取 政局に に善處

の意見を聞いた上政局に對し善處するものと見られてゐる、以定したが、山本內相は病氣の爲め休養中なので、登院次第會見し、閣內長老(東京二十二日發國通) 高橋藏相と會見の結果、齋藤總理は山本內相と會見に (東京二十二日發國通) 肚 閣內長老

藏相齋藤總理と 政局問題につき要談

の意思を以て鈴木總裁に閉合して重要合して重要合 章用を は年前九時半橋理官邸に驚勝 て

で競用群任説を公表して居るい。更に齋藤橋理は政友方向い。更に齋藤橋理は政友方向

台に臨武すべしこの意見を述 進退問題を考慮すべき事態さ なつた際で、早くも

一政界一 政局特徴さ さ見られる

樞府審查委員會

過

脱退案愈よ

續々歸順

で、掠奪すべき物資の缺乏の 年する小卵賊團は静倫の充實 在する小卵賊團は静倫の充實

おの領境に陥りつつある矢先 さ、電局の宣撫策が著々奏效 して帰順を申出でるもの額出 する有様で、道路工事等に使 役され生活を保障されてゐる

新

露

或

使

永井大使出發

東上した東上した東上した

容機で羽田飛行場に到着

羽田飛行塲着

學良、外遊しかねる

北支に

(上海世二日登詞:) 張學良は表面外遊の傷さ網し既に船室で豫宅も了し旅装も整へてあるものの、適日民衆の反感なり場面には商竊かに何豐林を派して蔣に對し交渉する所あり、學良さしては未だ北支に對し充分未練あるものの如くである 二十二日胡腐岡菱午後四時旅のを得び二十一日根行機で奉天を出載した稲東軍特務機関でを出まるとは、田東軍特務機関のでは、東京七三日酸國通」重要使

日露兩國間に横たはる懸案の

外相ど會見

△森田樹道印長(交通部)二十三日午前八寿四十分最ハル

事門のすし屋で味は満點配 類類業ですから護産にも何引立を御順申上44す が京永県町三丁目二十一香地

點配

△两句》事官(駐路大使館哨)

分陽京

卷

す

解决交渉開始を提議

◆李女龍上校〈吉林守備第二 ◆摩藤繁醫總監〈陽東軍 ◆ 醫 一一十八年四十分北寸 「八時四十分北寸 「八時四十分北寸

味がよいのさ

開

店

何と言つても新京一

0

●宣崎少佐(ハルピン特務機・寛評田東上

すべき諸種の紛議の解决につき協議を進める事になる模様で日蘇滿の三國共同委員會を設置し、三國間の國境附近に發生了り意見の交換を行つた、日露兩國の當面の問題としては、「古の意見の交換を行つた、日露兩國の當面の問題としては、「午後五時內田外相と會見、愈々日露兩國間の懸案諸問題に關何東京廿二日發國通」 新任駐日露國大使ユレネフ氏は廿二月(東京廿二日發國通) ある

不可侵條約交渉に

左項を考確に容れて居る かの對日赤化宣傳の我協へっ大使の不可侵條約交渉再開 ー、ナショナルさの關係 ー、ナショナルさの関係 不賛成論多し

ルの對日赤化宜傳の我的へ 一、第三インター、ナショナ の影響 不可侵條約交渉を 露國大使提議

00

五時外務省に内田外相を訪問「東京化三日畿紀卿」新ロシ 内田外相に對し

挨拶を交はし大時辭去した マツク首相

四一訂五号程京新 一二四二、フンデ 午前十一時半ロンドンに開復 で前州マクドナルド氏は北二日 に就き重 協議を逐抄た英帝 でがりま 協議を逐抄た英帝 した。 倫敦歸着

配達迅速 石原大佐

昭和八年三月二十三日

となし。不可侵係約締結に福 千葉商店精米部 屠場の經營及料 (奉天廿二日養胡湖) 韓朝の 年後一時卅四分養「ハー」に 下中野線領事代理。金井總務 を長、す川署長其他日調官民 を計場の出迎へを受けて著事、 上朝鮮経由歸朝の途に上つた蕃陽舘に入つた一層日滯在の 廿二日奉天着

織の如く動業を可評管のもの、職子の如く個人経管のもの、職 経営のもの或は四平街、雙廟叉附屬地には新京の様に蒲峨 内に深洲回鶻のものがあり。 日銀週報

(東京二十二日發國語) 日保 現代單位千圓) 發行兌換券 (1°00年天七 正貨準備 四三、0次 保閣內譯 全 債 三二、公八 保閣內譯 多 100年天七 三三、0次 (保閣內譯 多 100年天七

▲張亞東氏(中東鐵道駐京辦本處長)二十二日午後三時三十五分時京三十五日午後三時三十十二日午後三時三十五日中後 加時三十五分時京一十十二日午後三時三十五分時京 人事往來

日 治

本本條約改訂論まで行はれることを重大視して、一部 とことを重大視して、一部 に赤化宜停問題に顧し日様 国答を録けんさ観測されて国答を録けんさ観測されて 林二世 服洋 洋 服 声 井 店 I 奎 清特最

新京東三條通

狐

酒等上 木醬白

炭油米

H

電話

(定價金) 圓也) 唯一の資さも成るべき名實俱に完備せる體裁優美の『四六版在の大新京を各方面に渉つて紹介し、現實の大新京を識る 乞ふ各位の御賛同御助力御援助を 』大京京案内を刊行することに致ました 改題し並に新京人名録(並帶主を問題掲載)を兼ねたる、 今回愈々病氣全快と共に『新京人名錄』を大新京案內と 11.月上旬鏡び鎌定の新京人名録は吐主病氣の爲めて萬春に支障を來たし邈に感引の止

新京東一條五香州巴旅館內 華天群前 們京支部駐在員 主 京 高橋三四四 和話四五九八番

當る廿四日より三日間 塚敏子 6 8 0 物 女模様三態ー 服

獨り者見るべからず常世女模様三態を描いた 接じいエロ

3 三 郎、尾 主 然長 太 郞 五 郎

である。 其代も所頼福川し物らないで まである。

替へ大洋十三鎖さ見三十九側間のを以てなされる。即を精留のを以てなされる。即を精明が三百斤あるさすれば一斤

もないさ云ふこさである。

付は牛商、仲買人の目が頗る

駄な費用を要し且つ税金其 知。皮、骨、硫脂等に耐し無 在多くは奥地で居役するがこ

一頭大風を敬してゐる處もあれる。四年間大風を敬してゐる處もあれる。四年間の樣に牛

新陸か否かい問題で肥育した りであるが、小賣商には特に 此見分け方は和當困難である のが必ずしる類降でない名 依つて輪出せられぬ現状にあめるが、 4年は検査が非常に とさが理想である。 然るに現

あつて小質的は技肉の品質に之に反して大連では卸筋が

なが6牛が居されて居らない 南豊は非常に便利な地に在り

い語。すを、安化して買べる店

0

「東京世三日 伊田された。 本御用邸に行啓遊はされ 東る卅一日東京御田麓沼 東る卅一日東京御田麓沼

ハルピン同様公常和女**電料取** 住民の要望を容れテトハル、 二十二日より領遼。松中、北票

十五號により『始した

これも一緒に一般に替及させ

「此の日章候を受取り下さった 大兵融さんに申します。兵 はまてが畝の堅備を占領を られた時、ごうか此の血染 の日章族は僕の生血即ち魂 が着いてるてあなたの体を ですります。ごうが安心して

出來るまでに選んでゐるが

社員一章でお世話

著を三月一日より漢門にはす もつたが上海は機軍航空署さ しては終さため上海施軍航空署さ

がみ新京署では毎日午後大時連載的の鄂登事件最生にかん

和後は来る仕五日午後二年よ

真其のもので、三次署長も大右布片に配された手紙は、篩

新京特別市政会署では城内水 の補援計造を建て、大同二 年度新規事業さして領第二十

つて工事に参手するこご・2 というのは、第二水源地を統計、第一水源地を というのは、第二水源地を というのは、第二水源地は丁さ井水源地を統計、第一水源地を つたが、第二水源地は丁さ井

一般住宅にも配水

(原文の佳)

所持する賊

厦門に移し

一、大連に於ける試験動物納役來不振の原因たる

復浩一念な問題で

●戦闘場徑に働く、皇軍軍人「奉天二十二日産網通」朔風

血書と共に送り來る

戦闘場徑に働く、皇軍軍肌を刺す傾置の山野に勇猛

入者が競争的さなり。

て来た涙ぐましき銃後の美族 「な過日血染の日単族を廣島 「な過日血染の日単族を廣島 「な過日血染の日単族を廣島

世富時より生死を共にせし第 (同郡出今兵に)さの同署長の 委囑により同隊長も過股來標 し求めたが生情さ熱河出兵 後の事でもわり最近同大尉の 既慰の間柄にあり、東邊道討

一陸服部部隊の矢崎巻謀の許に約五寸大の日の丸が同青年に約五寸大の日の丸が同青年に約五寸大の日の丸が同青年に約五寸大の日の丸が同青年に約五寸大の日の丸が同青年

抗日大演習を行ふ

(十二時三十分釜山等。翌日(急行) 奉天發七時 安東 奢

時二十分) 六列車率天發十

こさになった、上り二列車

列車安東發十二時十五分奉天

沈滯した養発界の 沈滯した養発界の

き豫斯の成績をあけ得なかつれが生産児の器給風滑を缺いれる生産児の器給風滑を缺い

洲戟五機は(第六十四號か6 (所澤世二日登讀道) 愛詞謂

最近瀟淅養鬼界も

児事業は有望なものだが。これが、これではなった――総来養

せようご大馬力を

の風霊念を告げて以來抗日戦政府商軍航空部に於ては熱河

智を行ひつもある

が厦門に到着し抗日戦艦の演化行機八台、飛行士二十數名

抗日収着の演

皇太后陛下

に行啓

和文電報取扱

先の如きも何も案するこころ辞されたさいふもので、供給

その他の悪材料も最近全く一

た手紙さ共に委送を求めて 三次警察署長へたの血で書か

の勇士の爲め陸軍では護蔵寺 一行する事さなつた 上海南事變で戦死した近衛、 合郷の基を建立し、来る二十上海南事變で戦死した近衛、 合郷の基を建立し、来る二十一日發蔵連〕 備洲 の陸軍墓地に新たに南事變の

五一十 事髪の

新京城内上水道の

大擴張を

情畫

一青年より」さして匿名で、右日章族は「廣島縣三次郡の

空の勇士十名の墓

護國寺に建立

沿津御用邸

月一日から實施

| 後活 | の副業さし

時十五分二〇八列車奉天發十 一十年後山著翌日二時五分、四 時十五分二〇八列車奉天發十

ードアツ

朝鮮鐵道局で

しい儲けになる趣味さして たが、最近これがまた素晴ら たが、最近これがまた素晴ら

人利用上何等不便なしさ言

所捷であらっ因に頭道溝郵便 本局で受付はすれ共、結局は 南洲・切手を貼替へ積所國へ 引渡すものであるから此の手 助さ選延さを署く属にも直接 取さ選延さを署く属にも直接

満鐵社員會が中心で

惡材料は全く一掃された

養鷄も相當儲かる

滿洲國內 小包及送金は 滿洲側局を利用が便 其他への小包競送及送金等に京から吉林、哈爾賓齊々哈爾

に秩序の回復を見たので現在 開管理局管内には既に数百個 所の郵便局が各業務を開始し が利用者多からざるは甚だ遺 感ごし目下宣傳大に努め周知 方法を調じて居るご言へ比較 高の設置あるも前部郵便局は 各其利用上の分野明瞭であり 其整備に没頭して密たが。今 管) 用郵政管理局に於て鋭意 を消部郵務司及(奉来事熱研 用せば至確便利である。尚瑜が、右は端州説の郵便局を利が、右は端州説の郵便局を利 に在る頭道溝郵便船を利用す す6句らな向き多く、不便:人間には頭道溝郵使品の所在 は是非城内又は附屬地富士馬

以不審の議人二名が下車する原経に到着の際間列車から車 の警戒に努め萬全の策を請 五十五分中東南部線列車が新

三陸農災罹災者に 九千圓の寄附

(東京二十二日酸國市)コー に送附するこさになつ

し、内務省の手を評て罹災地で、外相も異んでこれを受務の罹災者救助の私め義捐金

底二個を所持してゐた、犯人で懐中に小銃弾丸百二十種故では小銃弾丸百二十種故 北に向つで逃走した、取職の

ブラジ

千五百名を最高さし、 桁未會有の協落内側 **承司國内の動竄とコ** 移民は昭和四年度の一八七〇東京廿二日登詞語)ブラジ

来れび増加の盗勢をない減退しつつあつたが

本年度渡

乘車券の

不正行使防止デー

養鬼熱の復活

ラジル移氏開始以来のレコー

は従来の海

のま。唯

森道雄氏の遺骨

帆のアフリカ丸栗船

自五十名を以て、二萬二百七

不正行使機械に努める

愛知農銀重役

株しく故國へ 砂塩死を強けた森道峰氏(二 十七)の遺骨は遺族三名に薄 中七)の遺骨は遺族三名に薄 地へ向つた

解剖學の權威

米大統領の

失業救濟教書

一十五萬の失業者

救濟を勸告す

教授逝去

皿染の日章旗を 長は二十二 が云した 地域は一十二 が云した

五萬の失業者教禮を勧告した後五時教養を翻會に送り二十 →ーズヴェルト大統領は二十

「ワシントン二十一日酸詞の」 驛辦の改善 社外線にも ・ 且つ昨年の來講觀祭園の改 ・ 書要望もあるので本月七日以 ・ 来講観全線曙標當の飯、副食 ・ 物、 表装。 量につき 傾音を行 つて にたが二十三日新京驛に 会主福八十五點。四平街八十點 と主福八十五點。四平街八十點

内地被祭園の來願を日聴に陸の確認本社では春の訪れる共に 春陽麗か 常改善されたき旨。告した

電ミして田中副個事。 荒木地 講堂に於て非行されたが。 末 家政女學校の卒業體督授與式「戸父兄會代表其他地方各有力市內室町等常高等小學校並に「力事務所長。高山警察署長。四 感激のシーン けふ室町校の卒業式

腹歷書携帶午前中來談

本語三人二人番 の 一司

外務員募集

感慨、生徒一同の感謝感激の原検長以下職員一同の無量な 離な氣字に打たれ正午式を終

元 一角教禮 長野主席訓護開式の群 状 過去数年育んだ見董を送る上

五、勅語捧讀
五、勅語捧讀
七、舉事祁告

石燈 生花材料 盆 木 栽 富

村 田逍遙園 電話三七二八番 着

食道樂

中央公館舞 町鮮銀化價

都合ニ依り奥地へ引上が二付キ安位緩リタシ部屋 大量一 四量半一 押入ペテカー風呂付キ 明教 スパカフエー向き新築家屋コンクリート土間十八坪

姓

名

在

社

揭味卓越 女學 電話三日九八番

新京日本福涌 一五八番

焼り すし竹食堂 水寄 機論電話二七二四番

プラジ 本年度渡航者は 一萬を突破 ル移民激増 現在の満洲遺焦眉の急騰で野す。だけに流暢な日本語で関部學生はさすがに日本へ留しいが、上つた。 度では徹底しません、それるには来だく、現在情報制

二一。田中國事、四戸父兄一一、統本地方事務所是管

0

・原校長の御片

着荷

御

通

知

森派ペルトライン

吉 野 町

朝

生三十名は西村事務官に引車既報。民政部警務司派遣留學 警察留學生 元氣で出發 で香々の派遣さなつた選です。東京の参察を誘習房でみつちり一ケ年勉強して婦のでからは大いにやるつも

一五、卒業生父兄代表下節

大。唱歌合唱(在校生卒

業生一同)

路領ダウリヤに

一四、卒業生答辭〈卒業生

代表言畸)

^{春最}格大 ^{向新}安衆

博の

3

婦

地

新京東一條通り三〇番地

電號

t

0 部署 一三。 年校生送群(五年生音長の來賓さしての祝鮮

新型高級スイス刺リライド

蓄

が、昨夏

十一日までの五日期を改定し 便防止デーは二十七日より二 **以稱斯京城嶺 樂車券不正行 確認を別する**さ共に乗車券 、や鉄改の経無及無札乗車 、同週前には乗車券の集札 廿七日から卅日まで に提起した 展園の賠償訴訟を地方裁判所

五ペ除は、二月末以来反変分パイカン、ダウリヤの第五十八八カン、ダウリヤの第五十

日本精迎

雇

眨

今日は

五圓

大和 吉野

島名稱十郎氏 蒙旅館氏

千圓 吉野町一丁

自 行 氏

拙者・「何答順係無乙族係此段戻告候也 新京宝町四丁目一香地 新京宝町四丁目一香地

正

手取り"不止行為ありごし"百一年取り"不止行為ありごし"百一日。 鈴木の三 (終護士は。元尚日、鈴木の三 (終護士は。元尚日、鈴木の三 (終護士は。元尚 洲崎名官廰は本日休日ごなるして祭典が執行された。尚編 政部總長張長恵上將が主祭官を祭る春季國岳祭に當るのでを祭る春季國岳祭に當るのでを祭る春季國岳祭に當るので 春季關岳祭

五國 三卷町五丁目 東中之助氏

二圓 日本情

林田信市氏

給ス御希望ノ方ハ至急來談アレ年令十七才以上日給令貳園畫食ヲ支

黎序三笠叫一丁目十四

新京競馬俱樂部

女子馬券發賣係募集

木

佐市氏

素計金百十八圓也

へらる

書事数あり。 士官で投獄さ 他の聯発にも

料がみなぎつて書る 義捐金 殉職警官

暖房工事

楠田式打込井戸

類 工 所

追ひく時季さなりました

打込井戸の御用は是非 楠田式を1

鐵筋及液骨 建築金物

りの分 三月十八日よ 本天後五、〇〇レコード銀行 金銀相劉政業・信吐 新京後五、二〇隣藝 新京後五、二〇隣藝 新京後五、二〇隣藝 中央放送局編輯 中央放送局編輯

大島洋行本時氏 中央通原传市氏 沙界 運輸 會社 保 電 氣 財京後七、三〇ニュース(英語) 財京後七、四五ニュース(落西亜語) 財京後九、〇〇ニュース(朝鮮語) 鮮語) 新京後八、〇〇ニュース(朝鮮語) 新京後八、一五ニュース(朝 がは、放送島編輯及プログ 東京後八、三〇時報中央放送記編輯

簡易輕便

子供服、 各種靴 レーンコ 春のかぶやかしさ!! 最新流行の裝ひ!! 春のショール、草履、宇生服、既製男服、

鋤ち

B國浦南 D

三元の 水水 主電車 子

金宝元金州

大石

マッラス pix 大学のラスコロ

人 宝二 東 天 岩 豊 吉 よ 勝

ラー 意大戦 最近大機

5 = ○ □ 開 元三 □ □ 見原

コラウム 2000年

計画で

13000# 13000#

和 三 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和

| 本国司 = 本 | 名西亚英州

| 本意の一条

·第三三章 第二三章 中大皇三二

1000 miles

スラスが水水

有 · 有 · 家

昌 100 (満洲國向美術七宝域物質)

茶器·置物額 煙草具疣瓶額

の人 目上の言に從ひ 質の人 目上の言に從ひ

II

スヌ

三様の小柄(二)
・からりと暗れ渡った尼子院、さへ居ますれる。と願へられてゐる、この院の巴『はい、利八めにございます」
を取ったの概を、際に野媛が聞々』さ、「その方は、徳平めと権でとをでは反映の解けさであつた。「はい、利八めにございます」
をおの構を、際に野媛が聞々。「さ、」」を続き、「大に整へたのは何と唱す」
をおったの様を、際に野媛が聞々。「さ、」」と続きでございます。
として迎つた。馬の暗、鈴の骨い好きなものでございますから
として迎つた。馬の暗、鈴の骨い好きなものでございますから
として迎つた。馬の暗、鈴の骨い好きなものでございますから
として迎つた。馬の暗、鈴の骨い好きなものでございますから

異

聞

日四十二月三 日九廿月二舊

[可認物何郭靖二章]

上装上演

第7年に三度館を持ち、その版 第7年に一度館を持ち、その版 第7年に一度館を持ち、その版 第7年に一度館を持ち、その版 第7年に一度館を持ち、その版 第7年に一度館を持ち、その版 第7年に一度館を持ち、その版 第7年に一度をかので これはお午と前太夫が7年を自 この選、松江の城下では、大 あつしは節次きの久三と申す が始まつてるた。 「女はてございます」 これ、音楽を疑しめ!」 から砂能でになった。 「本に整へたのは暇と申す」 これ、音楽を疑しめ!」 から砂能でにでいます。 「本になってるた。」 「本になってる。」 「本になってる。 「本になって

三月廿六日

BB

等豊富に準備して御座

关) 大阪商船出帆

9

茶

の軽い「トースト」の のな散策の即披芽に…

5

せん

3

迅

江戸前のおしるこ

紅

日

通僑本日京新 (番八三一三)(番五八五二話電)

金華

號

東京出張所電話四一三七番 電話四一三七番

(日 曜

金)

目種 業管 新京一の 自建聚金物請養 機時計機 不修立 の機械工場開業」 械マシンツ 機・ウオシント 並に設計 新京東三條通**六番**地 ヒッ請ポン ル頁プ

薄利多賣主義

護

士

田

電話三七二八番

吉野町

一丁目三番地

長春鐵工所

記念品 贈呈品 恐用

3 幅 しま -や吳服店 電話二五三五番

貨 物 自 送 引 迅速、親切、越荷物荷造

图 昌 圖公司新京支店 本 店大 港市 武藏町 電話 問三 七二七番

誠り

意

努力

自 才 ŀ

各種自轉車 オートバイ 約特 0 御 自 用 命 轉 常話二四二二番 は 車 店



朝日

新 京 日本橋 通 b 七三

洋 電話三七三二番

日本トランス

蓄

音

器

賣

店

修

敏 11 蟀 速

自 及 轉 附 車 屬 品 小卸 賣

築金物部• 鳥羽洋行支 在。 新京曙町四丁目十四番地 庫。 各種機械工事 モートル殺電機 電力、電 豐。 新• 富。 請 正確なお時計が 御やかしい 楽しい 社会への 何よりのヨキ…」 新らたなる 第一歩に 事びの第一歩に…… プレ セントです

御薬の御用は 是非御電話に下 話二点公子 **晋野町二丁目一番地** トロフ商會 0 品。

歌の人 失費多かるべく

ひり見る時

の指導の下に御婦人用衣裝部を開 エス、 日本橋通り三〇番地 何卒御立寄り オリメルト嬢 内 0

御試み下さいませ

下記丸十二本

新京八島頭七六

STOTINGS

事

設致しましたい

の度エム、

指定店の 京東 丸十電機商會支店

到

入學・進級・卒業・紀念に



通標本日京新 三 話 電

七一九二年即、七三七三 話電

全門白米

十四州で黄綰される事になつに禁酒制度を規定してゐないに禁酒制度を規定してゐない

看話二四二 季

本では、100 大学の日本では、100 大学の日本には、100 大学の日本には、1

海外經濟 灣 欄

俞

四本大量

唸を生じて大評判 不況を外に大發展 慢かば焼トざんぶり 三笠町二丁目 高話二九四二 平

御料理 路周三東 西三馬路 電話三七三〇

美人の王國です 花も質もある ライオンカファ 美人揃ひのウエータ連のサ~ ーピス振りを即覧下さい ホガラカなホー 三笠町二丁目 電話二三七九番

澤庵ノ御用今是非 岩 崎 新京日本年通賓岸行內 電話三七三二番

호

증

高一

タン

力

貸切り値上げ

を一(元)から自分の名をか

替は同洋行元印刷

ここを突止め取調べるさ右ば

満蒙進出發展の原動力

自有更生の道は

安價生活にあり

醫事博士 松浦有志太郎

米。青米等。個は安けれご浴

の養生を知るべし

つれその繁養價はなくなり

上けるさ金銭債が高くなるため、羊甕や上等の菓子に

伯は黙者出身であり、多最初の總裁であつた後藤 務省衛生局長さして衛生 には光練の士であり領極

人を築の健康を悪くしておる 信であるのを見るさ。ごうし 信であるのを見るさ。ごうし

かが認に於ける社會事業の老 大衆さして知られる日本女子 大衆さして知られる日本女子 大衆は本大県教授生江孝之氏 は領観の招聘できまに来京し たが、二十五日午後六時から 北京高女課堂で「わが現在の が、二十五日午後六時から

糖やかんてん杯多く加へて布にて適して小豆餡 こなし

人の十万倍さなりでおる、即ち如何に満線従業員日本人の協康狀態が不良であるかを知る事が出来る。然るに満線の

ズフト質素な低價な生活をしらない内地の三倍义は拾五倍

廿五日高女で

く煮て皮を捨て、黄汁を捨てなるが、2に曹・抔人れ柔が

養價は高し

登洋7日刷所に動務してある 田に就き捜査中、日本橋温双

一躍およそ二倍に

凡て質素な料理はよけれごも ・ 会員 国の高くなるにつれヴネ タミン、カルシウム等の必要、 成分は段々研選され絵去され で類句書の食物さなるもの で知るべし

シジャコ、乾シ練等、骨も類 品よりも、縁、神鰯、乾婦グ の類。魚類。高價な牛肉、

参照に供する、南端洲殿道台

婆、配給施設に至るまで島 娘の病院の完備。看護婦。 を生し金をかけ滅縁 がある。

・銀に産治は

寄々のゼイ

タクなる飯食は支

八田副總裁

日本酒、ピール、ウキスキー日本酒、ピール、ウキスキー日本酒、ピール、のサスキーの調や、中内稲嶋漬、田や田本酒、ピール、ウキスキー

つた

の線

は程来の約二倍に達してある 京署に申請中のさころ此のほ 京署に申請中のさころ此のほ 京署に申請中のさころ此のほ

無間二十周、大時間二十二回五十銭、八時間二十四四五十銭、八時間二十六四九時間七七回五十銭、一時間二十七回五十銭、一時間二十七回五十銭、一時間未帰は一時さ做す

乾し葉。里芋の葉又

業員の健康に関する統計があ

るのであ

各参額もの領洲地野人日。承上三日年投六時から大和本テルに郊巡務總理船の各部總長

本"村上県理事字佐美橋が長 が主人側から副總裁を始め河 を設める副総裁を始め河

福島の名替でのもう。 のも施かにゼイタタな ・一条管奥器は刺がよくて ・一条管奥器は刺がよくて ・一条管奥器は刺がよくて ・一条管奥器は刺がよくて

博士岩田穣氏者の編別の衛生

般の事に關係して居た、幣出社に多年奉献してその衛生

両科金を見らったの如くで

間十三

ম

依頼された場合膝並びにどが関体側から旅館の手配を

から花田端春の名義で振出された日。日本橋野便局出張所

ペフド・カイトンに始まり。 出る地圖の途中で漸次消える

月十八日午後二時頃同地设 月十八日午後二時頃同地设

れてゐるを探知し同署では花

圏体側から旅館の手配を

安項を述べてゐる

してたの

報社古谷一氏方へ去月十三 日午前八時頃怪盗が侵入し活字。洋服並に朝鮮統營郵便局 振出替為孔圓合計八十圓余を 振出替為孔圓合計八十圓余を 振出替為孔圓合計八十圓余を

佳木斯附近の

討匪中戰死

先づ少年が

滿洲國旗を

以來萬 ・墨附近を荒し盛つた 「以來萬・墨附近を荒し盛つた

神方を強ひ、馬三爾衣類二十一数點。を強奪、續いて同月二十四日午前四時頃長春縣小南程古元方を襲撃しモーゼル二挺、長統一挺、衣類三十點を強奪。同十二月上旬長春縣小南後看線下成片孫順方を襲ひた。 長春縣天成片孫東方を襲ひた。

を強奪。その他附近一帶の都 馬破割伐が激しまため新京市 中に潜伏し時々辻媛姿を働く はが有利さ等へ頭目さ別れ。 二十日新京に乗込ださ豪籍し 保員を離してゐる。最近にな

⇒忌禪なき意見の交換をした拶より青訓業績向上方法につ

目無業營

建築材料及努力供給 建築物ノ調査 鑑定 砂計 監督 及金 励

堂に溢る柳衆あり盛况裡に敵 引き和き映版の夕も同校大講

生江氏の

ピウロウでは一般市民に心

だらうさ豫想されてゐる。

御祭者が輩に修婆するに止 年は一倍二倍の獣が豫想さ

十人員約六千名であるが、の京地楽訪旅行側体敷約二

を豫め手配しておく職係上、関体の人員に應じて棄物

見明させればならわさ云ふこ

のてめる旅行者を立めの旅行

で疲れき

そうでなければ例へは乗合自

の窓中知人等の附添ひはな

なかつたま云つてよかつた

為替を盗み

裏書を賴んだ

犯人難なく捕はる

で真者したこさが判明し二十で真者したこさが判明し二十

遠掃し取個ペるさ右は吉林省 や件の男は逃走を企たが追跡 や件の男は逃走を企たが追跡 の外に過去を企たが追跡

あるが、満洲畝の中橋機

春と共に近づく

旅行シー

ズン來

まづいユーローから皆さまへ

ぜひ心得て

欲

10

です

为

產

に

は

カでは精力刺さしての蛤=油~ ステッキ、胡桃・の他日澤の~ は精力刺さしての蛤=油~

に代つた所で

には完成する管であるから本 に議州司建國の必然性さ眞意には完成する管であるから本 に議州司建國の必然性さ眞意には完成する管であるから本 に議州司建國の必然性さ眞意

郵便局の

を發見し新京署に屆出た。 る人々は解注意し

窓口に

御注意あれ 掏摸が横行

中この口もさにノウサフされりである。ものを言ふ時に口もさにをかてもユコフトする歳に

本月未から

なシャンだそして又内語的なな事受合用心とへ本同じくフ

協係當局で頫に頭を絞る しんなものがいか

た。新名物さして考案され役 の材料は肝腎の新京では何一 つさしてなく、給食費も見るが、そ

も、は一つさしてないのよ波のお土産さして持ち帰るほごの

かけるであらうが、お客達が

お客達が

何が一番宜しい 74 ? **局者は頭を統つてる。右につ** 新京名物 ごして取入れるかき のばかりで、これを何うして るには充分だがい いて伊藤帰職動業係主任は騎 も古林奥地カ面の材料のも

に伸び大興安協の天験を越え て東京観消は東へ南へき途に 大連にまで、各地に股脈なロシア街が現けれ厳順の大験を越え

恐喝を働らく

百圓捲上げたが糠喜び

悪い男遂に御用!

にが。房用のため同局書留窓に報告で極め身動きが出来ない有様さなつてるるが。この報告で見込みスリ犯人が侵入し出入者を物色してるる。二十三日午後零誌二十分頃域内西川馬路彌洲紀涌信社河原身のボが、房用のため同局書留窓

二十五日から34~週間。 二十五日から34~週間。 光微防のため市内の野犬撲殺 を行ふこまになつた、畜犬は 厳重に自宅内へ緊留されたい さなほ畜犬の物的注射は八年 さなほ畜犬の物的注射は八年

日限り

藝妓

を餌

学へて見るさ多様多様。いるに決めたい積りであた。 は一つもないのは残念だ、 は一つもないのは残念だ、

に大脅威を與

八)は寬城子科亭多門館こさ、隣を縣生れ寬城子森殿常一へ

ある。ここを知つてゐるが、 察官だが阿片 密管をやつて

を最近大連から抱 大西多吉方に藝名

エコ(三0)

らこ恐喝し現金二回を捨上す

ガシース在中金八十圓、書留はたが、別用のため同局書留窓

年は特に時期を早め本月

したが見違える程ゲッソリ

処知書。二酒を拘られてるる

地野に於て戦死した 地野に於て戦死した 此の襲土を蹂躪し歩さんさしかた。見り張家の感燈は再びかた。見り張家の感燈は再びかた。見り張家の感燈は再びかた。 その戦によつて蘇生した領を交へも日路役に移り、を戦を交へも日路役に移り、

軍ので際や領路満職線爆破か年九月十八日の夜。攀良正規地に敵然き起つた。一九三二 日本は自衛の鑑またも此

滿洲國建國

ーックースで、レーンコート水心らむ四月寒から中離もス

がいてはなるべく希望に添 がいてはなるべく希望に添 がいてはなるべく希望に添

3

『貌全の國洲滿』 成完く近よ愈 へ國各界世を畵映名のこ

譯飜に語國各もルトイタ

物騒極まる男 新京で辻强盗でもど

てた所で全篇。閉ぢる、タイー協楊俊母方に至り。自分は資和繁榮化へ工作の一瀆標を建一郎(三0)は市内水製町踊人阿片を遺憾なく織り込み世界の平一滋賀縣生れ住所不定加機幸太と「歴を荒す」 喝男 こっにも恐

二十三日卒業式を単行した筆 市之助氏は十圓を同様卒業肥 また西川正郎氏は十五圓。 様 をまた西川正郎氏は十五圓。 様 を また西川正郎氏は十五圓。 様 を また西川正郎氏は十五圓。 様

付け、同家を訪れ右タエコか大連某紹介人の妾だがそれを 無断で抱へるここは法にない これを表沙汰にすれば社會問 回ごなるが、金なへ出せば自 分は引下るがき恐謁し、現金 二百圓を接上てぐるを新京領 事館警察署員、探知し、右森 様が五馬路科享三屬に登樓中 卒業記念に

室町校へ寄附

た。 福州病各部では早くも野た。 福州病各部では早くも野た。 福州病各部では早くも野の外頭を飾るスフボンデ野球試合が二十三日午後三時から同部前グラウンドで民政部先攻で華々しい 零二回。民政部一點を作取し試合に開始された。一回用軍 與安總署零単三回に入らう

荒木地方事務所長ので含の挟単鉄管は多数有志の出席あり単鉄管は多数有志の出席あり 談會盛况 新京青訓座

馬賊の仲間から別れて來た

新京署

の大捕もの

大日午後九年五十分出生

順中氏五男京伍十

名な和歌山は紀州の産ですがの秀香をいかんなく漂はしての秀香をいかんなく漂はして 10 t stit

一古 凶嗣福 Zanamanie

資本金 本

五 新 京 拾 八 島 通 萬 六

九

围

建築助成 營業所 電路 三 O 八 三 参 新京商埠地大極路二一 株式會

新

京

はやくも 野球の皮切り 民政部對與安總署

の人も可要想な程内がおちて もした。何故吉林へ行つたら やせるのでせう?…それはも

吉林から隔つて來ましたがこ 菊も十七日。 蒼 こ 顔をして 頭因はそれは!! ▲ 幽趣の小

個るを發見し二十三日逮捕し 外七馬將朝鮮人儀起山方に立 犯人搜査中の歳名犯人が北門

新京領事館警察署員は極密に

ヤを恐喝してるるを探知したの他自記同様手段で演人モヒ

今年のまづ劈頭をかざる 以下列席、デオートコースに以下列席、デオートコースに以下列席、デオートコースに 途け二十七日午前十時鳩號滯在。その母母肚重要用務

七日夜奉天教二十八日帰還の七日夜奉天教二十八日帰還の か定である

石 炭

話

三三四五

协行

大連新潟物產吳服部 於 新京太子堂

利其他の間接受を要せ学且つ緊ሙの補助に依り多額の營業の税制が合理的であり、現金主義にて集金の手数や掛け倒の統制が合理的であり、現金主義にて集金の手数や掛け倒の統制が合理的であり、現金主義にて集金の手数や掛け倒

物產吳服特價提供

電話膜9物有9三九五六へ 三月廿四日 リスト厳禽前南入ル 五细金色 堂室金 83-83F8

e. C. S. A. S. Balle e, Clare to Fritten 4. ET TOTAL THE REAL PROPERTY OF THE PARTY AN. 害引大特價提供 0



秋けたあばら家に、齒痛なかつだ、唯一軒の天井

指定會玩

連大店本 種用安田寺四種

開櫓の南六十支里の猴侵蘇 少將自分の領遇した所で 工作こそ何より大事ださ私 准みつじあるが今後の政治

商、豪農。商務會長、農林を安んぜねばならぬ、私はを安んぜねばならぬ、私は

れたさ云ムエ

本的改革は民意を代行す

に雨が降つたので

たのに急

張總司合を圍んで

以軍の座談會

堂々七百夏大冊

七縣の内十世縣を陥り

壬公さ悉く親友で班 喇河野房長 張將軍は撃古の あるから.

鮮魚小賣相場

日元和二ノ一四ノ三卓球会論 「東京の内帝制事務所内其會 「東京の内帝制事務所内其會 「東京の内帝制事務所内其會 「東京の内帝制事務所内其會 「東京の内帝制事務所内其會 丸大根

セリ内地一五 107 0 カプラ大一〇 大大 連根 夢 〇〇〇〇 大八四五 內地被 赤大根 同菜 大連建物 ON.



(3)



族の代

噐

或

盆

一石 濱知 行牧野輝智武藤山治松方幸次郎馬 塲恒 吾

四六州上野科殿高度入 定價一圓二十錢中華生にもわかる無類波法やさ中華生にもわかる無類波法やさ

なったら何度するか仲々大性んであた所だが。何時に明八十支里には全然人間が

FN

もので刺ったが、

て兵隊の來る以前に家

本語 (本語) (和語) (

紹

で、殊に励射が得賞だ、荒で、殊に励射が得賞だ、荒で、殊に励射が得賞だ、荒 つたが午後三時 百貨店 金泰洋行金泰洋行 帽

見た事はない

・ 第二 3 時代高田穂洲の 第二 3 時代高田穂州 第二 1 1 時代高田・原内部 勇 満洲國の經濟十ケ 叔父秋水の億ひ出・## 一制の危機 荒 前 ・ファシズム經濟的 治間 歌舞伎論。坪內逍遙 湯淺宮相論 反 議武士と資本家 上·永井荷風

行 ・圓安洋行綺談・山浦町勝本正 ・ボイ ・ホイコット 高柳 賢 Ł 者·細田民樹

明白と存じます

朗

かに

◆議 會□ **業統制論** ·國際聯盟

ネ・堀田昇一 前島崎藤村 春 0 石粉を全然使は以精米工場が念々完成致しました製品に一層改 無砂米ご混砂白米との優劣は御説明申上けるまでもなく余りに 春を加へ

一歩として是非御用命御願致します特質致します台所經濟合理化の第一歩として是非御用命御願致します特質致します台所經濟合理化の第

晶米二千贝

杉清三坂淺 尾家浦本野 商商洋商商 精

三笠町四丁

合服地斬新柄豐富入荷

ーヴ決戦記

江尚

1

廣三揃

45,00

A

デ

85,00 100,00

日本への影

合

K

40.00

7

デ

新京百貨品内ニ營業中へ絕大ナゲ御聲援ラ扇リ厚ク御殿印上マス店舗擴 **加來高級品卜國產優秀品豐富**

張ト共二層一層皆様方ノお店トシテ断然御期待ニシ添ィ申可ク左記ニ移 致マシタ御散策ノ折り是非一度お立寄り御高麗ノ榮ヲ賜リ度お待テ申 チ居マス尚御用命ノ節ハお電話ラ 商勝叉洋服店新京出張所 新京日本構通り六十二番

病 氣 丸丸調德日今 カ 平徳

不經濟

店店行店店米 是四九五九二 〇八六四六 〇八六四六

五十錢景品券 賣 元 ども空籤なし 富士町四丁目

田商 (三月十日より向ふ) 店精米所 (最高券は叭の中に) 百四十本

健かに、 月月 0 店 新京女學校制服調製所 Ŷ 電話ニセミの番

度社立のスマー 春は全く朗りかです

服

服

と』にあることは、既に響學界で認められてゐる處である。一族何に昂むせる細胞に活力を奥へて、細胞を形成する原形質素へて、細胞を形成する原形質素のない。 ○――胃酸過多症と減慢症にひとしく変効するのも同一要理による。 「一一面益」配割わかもとこ、そ質にその薬である。この疲滞せる細胞を放金に常なる状態に立返らしめる作用がヘーフエ酸型「起揺わかもとこそ質にその薬である。この疲滞せる細胞を放金に素の変である。この疲滞せる細胞を放金を大きに、その変である。この疲滞せる細胞をしめる、便秘には植物性下側を與へて蠕動を刺戟亢進せしめる。然しせしめ、便秘には植物性下側を與へて蠕動を刺戟亢進せしめる。然し

の綜合効果

なるを以て、一般にして、各疾患に限因する食慾不振の恢復に最適の薬物である。 に含有せらる」多くの消化酵素は、緩粉、蛋白、脂肪は他の各食品成分を消化する消化素の綜合劑に含有している。 デアスターゼやペプシンの消化剤に優る新消化剤として『観刺わかると』が質用せらるゝは、本剤に

職嗣小兄、曹臨府者、結核、大病後の人々にも能く消化吸収せらると築資原である。 本側の成分は全く天然自然の形に於て保有せられ、その成分は最も可溶吸收性の状態にあるを以て「経難わかもと」中の含有成分中から紫養原を別記すれば、殆ど凡てを網羅せるの思がある。続も

消化管の機能を即進せしめ、同時に披掘せる機力を恢復する作用に使つことも基大であるが、更に 防禦素を激増して結核桿的及び大脳桿菌に動し直接に溶菌の質を學ぐる点に限めす。 結核も、いの慢性障碍も『影響わかもと』によって極めて良好な治療成績を示す。 東北京 帝國の三作用を維行する『影響わかもと』が急性慢性の胃臓疾患、結核、神経衰 一之は本州が

振、便秘、膓胃內異常醱酵、膓自家中毒、蕁麻疹。カタル、胃酸過多症、胃擴張、胃アトニー、胃下垂、胃潰瘍、食慾、産前産後の衰弱、惡阻、乳汁分泌不足、ヒステリー、急性慢性胃衰弱、不眠、浮腫、乳幼兒の消化不良、榮養不良、綠便、粘便、鼓灸、肺結核、肋膜炎、カリエス、貧血、脚氣、糖尿病、腎臟炎、神炎、肺結核、肋膜炎、カリエス、貧血、脚氣、糖尿病、腎臟炎、神 野繁を服用中の患者が野繁と併用すれば衝撃の歴度を著しく昂めて治癒を早める。 劇、観氣、一般衰弱の諸純疾患に最適の治療剤であることは风に臨床関家の認める威であるが、文学、ちゅうない。

(三月末日まで)

藥價低 廉

二十五日量一圓六十錢 榮養を育兒の